

裏千家十三代家元

令和5年秋季特別展

圓能齋鉄中宗室

現代への礎

圓滿に

その能を

発揮せよ



2023 Autumn Special Exhibition

13th Urasenke Iemoto

Ennōsai Tetchū Sōshitsu

-Setting the Foundations for Urasenke in the Modern Age-

2023

9.26 [火] — **12.3** [日]

前期 = 9月26日(火) — 10月29日(日)

後期 = 11月1日(水) — 12月3日(日)

休館日 = 月曜日(但し、10月9日は開館。翌日休館)、第1・3火曜日、
展示替え期間(10月30日・31日)

開館時間 = 午前9時30分 — 午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 = 一般1,000円、大学生600円、中高生350円

小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料

呈茶 = 一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円(予約優先・要別途入館料)

平日と土・祝日・12月3日に開催

(但し、11月17日・18日は行事のため呈茶席の開催はありません。)

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073

京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地

裏千家センター内 TEL: 075-431-6474

上から
百千鳥蒔絵平棗 圓能齋好 今日庵蔵
赤楽「十八公」文字文茶碗 圓能齋文字 樂弘入作 茶道資料館蔵
猿兜釜 圓能齋好 佐々木彦兵衛作 今日庵蔵

令和5年秋季特別展

裏千家十三代家元

圓能齋鉄中宗室

現代への礎

令和5年は裏千家十三代家元・圓能齋鉄中宗室（1872～1924）の百回忌にあたります。本展はこれを記念して、圓能齋の功績や、その活動を支えた人物との交流を紹介いたします。

圓能齋が生きた明治・大正時代は、近代的な国家形成のために日本の様々な分野で一大変革が行われた時代でした。そのような中で家元を継いだ圓能齋は、女学校教育への茶道の導入とその指導者の育成に注力し、茶道人口の増大と発展に貢献しました。また、裏千家家元として始めて点前や茶道具に関する書籍を公刊し、出版による茶道普及と作法の伝承に踏み切ります。

茶の湯教育の新たな体制を確立し、現代の裏千家茶道の礎を築いた圓能齋に関連する茶道具・茶書などを展示し、その軌跡をたどる展観とします。



一行「子能継父業」圓能齋筆 今日庵蔵



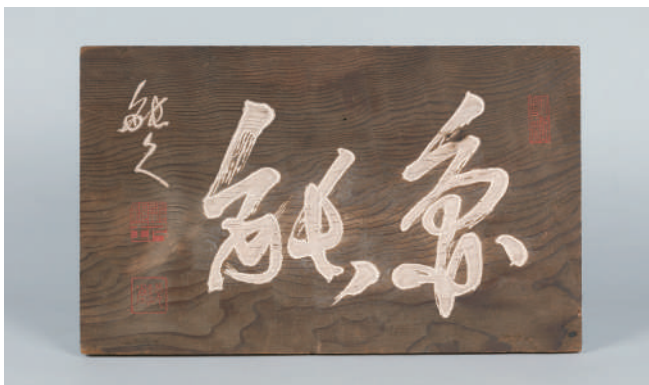
日出棗 圓能齋好 栗田元竺作 茶道資料館蔵



老松地紋鑄込釜 大西清右衛門作
黄銅老松毛彫切掛風炉 中川浄益作
(老松皆具一式 圓能齋好 のうち)



赤楽猿画茶碗 圓能齋好 六代吉向十三軒作



「圓能」木扁額 今日庵蔵

メンバーシップ校

- 京都芸術大学
- 立命館
- 光華女子学園
- 京都大学
- 京都工芸繊維大学
- 同志社
- 平安女学院
- 京都文教学園
- 京都精華大学
- 京都府立医科大学
- 京都府立大学
- 京都外国語大学
- 京都産業大学
- 京都先端科学大学 (加盟順)

呈茶席 (有料・予約優先)

立礼の茶席で抹茶と和菓子をお出ししています。

開催日：平日と土・祝日・12月3日(日)
但し、11月17日・18日はありません。

時間：10時、11時、13時、14時、15時

定員：各席16名

料金：一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円

※詳細・予約方法は、ホームページまたは電話にてご確認ください(予約は前日15時まで)。



第4回 茶道文化検定 Web版

令和5年 11月3日(金・祝)～12日(日)



交通案内

- 市バス ■ JR京都駅中央口のりばB1より⑨ ■ 阪急大宮駅下車3番出口→四条堀川より⑨⑩ ※いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分
■ 京阪出町柳駅より⑩⑪、堀川今出川下車、堀川通東側を北へ徒歩10分
- 地下鉄 ■ 烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分 ■ 東西線二条城前駅より市バス⑨⑩、堀川寺ノ内下車、徒歩3分

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地 裏千家センター内
TEL : 075-431-6474 <https://www.urasenke.or.jp/textc/gallery/> (日本語)
<https://www.urasenke.or.jp/textc/organ/konnichian/gallery/> (English)



HP (日本語)



HP (English)



X (旧Twitter)